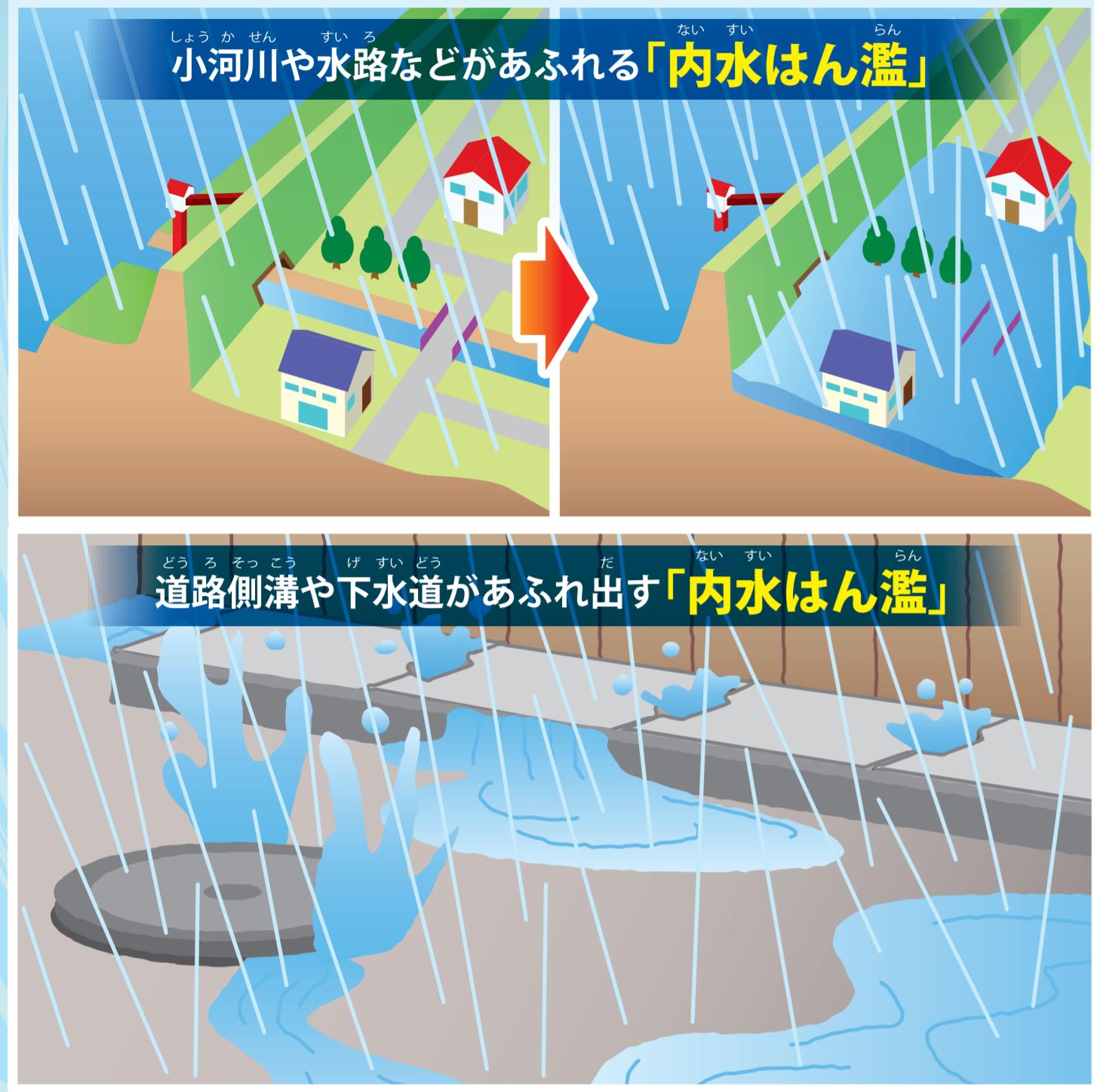


鈴鹿市

Suzuka  
City

# 内水ハザードマップ

保存版



## わが家の防災メモ

このマップを参考に、家族で水害対策について話し合いましょう。



## 緊急連絡先

連絡先	電話番号
鈴鹿市役所(代表)	059-382-1100
消防: 火災・救急通報	119
消防: 火災警報・音声ガイダンス	059-382-3412
鈴鹿市水道局	059-382-1673
鈴鹿警察署(代表)	059-380-0110
警察: 緊急通報	110
中部電力(鈴鹿営業所)	0120-985-342
中部電力(四日市営業所)	0120-985-340
NTT	113

すずか減災プロジェクト

すずか減災プロジェクトとは、デジタルカメラや携帯電話などで撮影した身近な気象状況や被害状況などをウェブサイト上の地図上で共有し、災害による被害の軽減(減災)を目指す仕組みです。

携帯アドレス <http://wni.jp/?suzuka>

発行: 平成26年7月

鈴鹿市 防災危機管理課 Tel: 059-382-9968  
河川雨水対策課 Tel: 059-382-7614

## 1. はじめに

### 1-1. 内水ハザードマップとは

近年の市街化の進展や集中豪雨の増加に伴い、下水道等の雨水排水能力を上回る雨水流入が発生しています。

そのため、道路側溝や下水道、水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水はん濫」といいます。

この内水ハザードマップは、内水による浸水被害の最小化を図ることを目的として、内水による浸水に関する情報及び避難に関する情報を記載したもので、本マップを参考に、大雨時の対策について考えてみましょう。

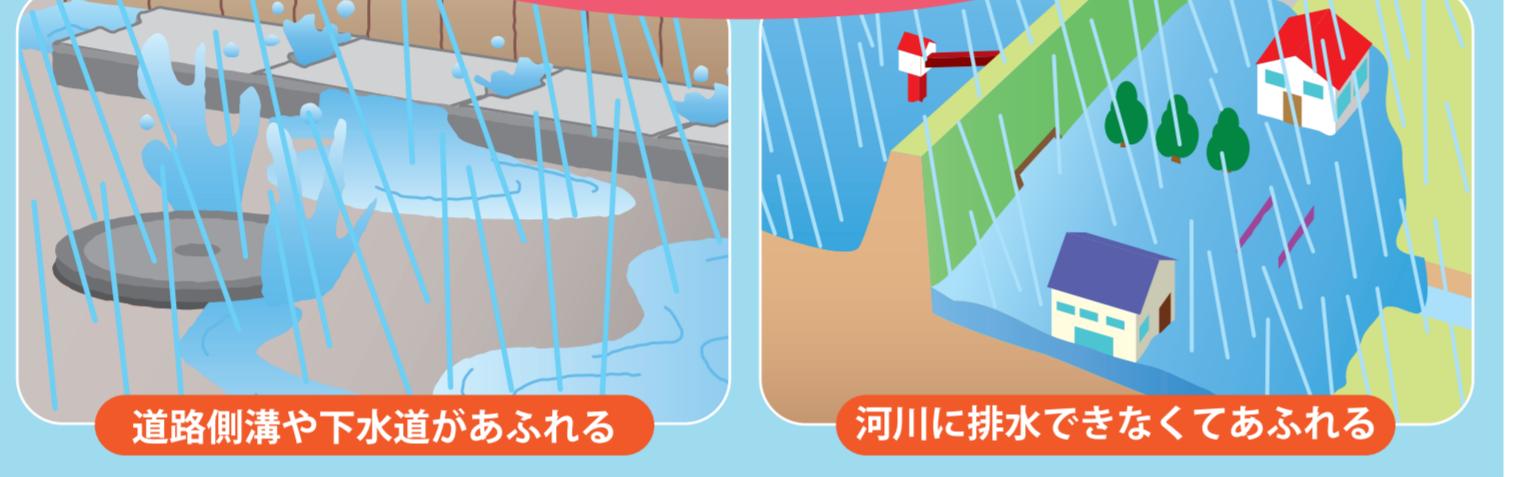


### 1-2. 内水はん濫とは

#### 大雨の発生!



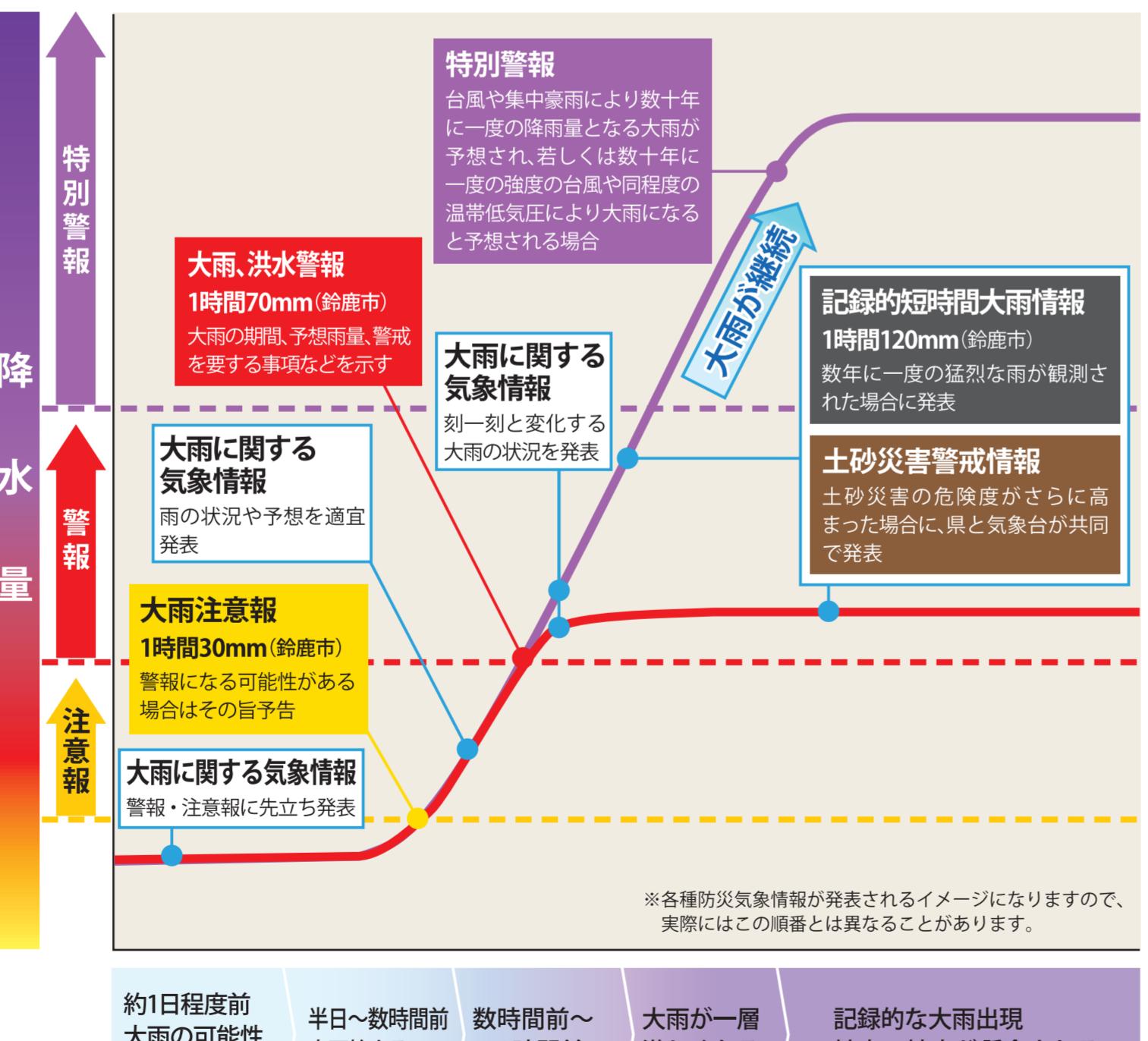
#### 内水はん濫の発生!



## 3. いざという時に発表される情報の意味を知っておこう

### 3-1. 防災気象情報の発表の流れ

防災気象情報は、気象台が発表する身边に役立つ情報です。



#### 短時間に激しく降る雨に特に注意しましょう！

テレビなどの気象情報で、「今後24時間の間に100mmをこえる雨が予想されます」などの情報を見聞きしたときは、短時間に激しく降る雨に特に注意が必要です。下水道は、1時間に約65mmの雨を処理できるように整備していますが、それ以上の短時間に激しい雨が降ったときに内水はん濫が発生する危険性が高くなりますので、気象情報に注意しましょう。

1 地震・津波・台風・大雨などの防災気象情報

2 避難勧告・指示などの緊急情報

3 地域の防災情報

登録方法 携帯アドレス <http://www.anshinmail.city.suzuka.lg.jp/m/>

アドレスにアクセス後QRコードを読み取り登録。

登録の注意 登録をする前に、迷惑メール防止機能の設定を変更してください。

## 2. 大雨に備えた浸水対策をしましょう

### 家の周りを確認しましょう



家財  
□貴重品など濡れて困るものは、あらかじめ高い場所へ移動しているか。

屋根  
□アンテナは不安定ではないか。  
□トタンがめくれていないか。  
□瓦のひび・割れ・はがれがないか。

その他  
□店舗などでは看板のぐらつきがないか。  
□ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないよう固定しているか。  
□庭木には添え木をしているか。  
□ブロック塀はくずれそうにないか。

窓  
□窓枠のがたつきはないか。  
□戸戸にがたつきはないか。

雨どい  
□雨どいに落ち葉などが詰まっているか。  
□ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないよう固定しているか。

ベランダ  
□植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険のあるものははがれ、腐りはないか。

外壁  
□壁に亀裂はないか。

排水溝  
□排水溝にごみや土砂が詰まっているか。

排水溝  
□プロパンガスのボンベは鎖でしっかりと固定しているか。

大雨時に、固定していないものが流れると、水路などをふさいでしまい浸水被害を広げる原因になります。浸水対策を考える時は、家のまわりにあるものが大雨により流れられないよう、事前に対策を行いましょう。

また、稻わらも流れだすと、排水路のつまりの原因となります。収穫後の稻わらは、水路などに流れ込まないように適切な処理を行いましょう。

## 4. 緊急時の対応を知っておきましょう

### 4-1. 大雨時は自ら情報収集を！

#### 大雨時は、自ら情報収集する意識が大切！



### 4-2. 家財を浸水被害から防ぐ！

大切な家財が水につかると、故障したり使えなくなってしまいます。大切なもの(貴重品、写真アルバム等)は、日頃から確認し、いざというときにはすぐに移動できるように考えておきましょう。

自動車は、浸水すると故障の原因になります。早めに高いうちに移動しておきましょう。  
移動が困難なときでも、食卓などの机の上に載せ、位置を高くしておきましょう。  
安全な場所へ

いざという時の簡易水防工法を知っておきましょう。

①ごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れる。

②ダンボール箱に入れ、連結する。ゴミ袋による簡易水防工法。

重い家財を少ない人数で無理に移動しようとすると、思わぬケガにもつながることがありますので注意しましょう。

垂直避難

浸水が始まると、水深が浅くても流れの速さによって足をすくわれます。また、側溝やマンホール、水路などが確認できずに、転落するおそれがあります。特に夜間の避難は、周囲の状況が確認しにくく、非常に危険ですので、屋外を移動しないでください。

状況に応じて、建物の2階以上に垂直避難をしてください。

垂直避難

建物の2階以上に垂直避難をしてください。

垂直避難

建物の2階以上に垂直避難をしてください。

垂直避難

建物の2階以上に垂直避難をしてください。